



すみ 墨ながしで遊ぼう



千葉県立千葉高等学校 川上 義孝

●どんな体験なの？

油のように水をはじく性質のある^{すみ}墨を使って、水の表面張力を使って^{すみ}墨を動かす「墨ながし」の実験をしましょう。きれいな模様を紙に写し取ります。

●体験のしかたとコツ

【用意するもの】

バット、^{すみ}墨、和紙、筆、液体洗剤、ようじ、(アイロン)

【実験のしかた】

(1)筆の先に、よくすった^{すみ}墨を付け、水面にそっと入れると、ぱっと広がります。

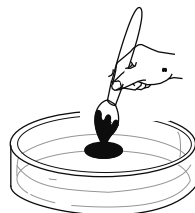


図1

(2)液体洗剤をつけたようじの先を、^{すみ}墨の真ん中につけます。すると、すみが丸く広がります。

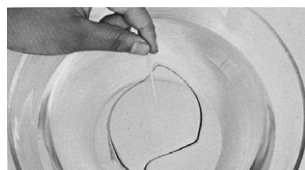


図2

(3)さらに、また^{すみ}墨を水面につけ、次に液体洗剤をつけて何回もくり返します。

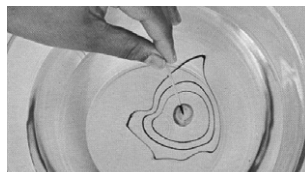


図3

(4)水をよくすう紙(半紙や和紙)を上からかぶせてそっと引き上げます。

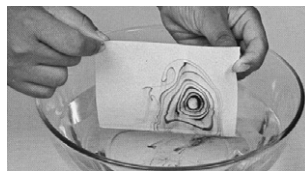


図4

※手早く和紙をかぶせないとうまくつきません。

●気をつけよう

^{すみ}墨が衣服につかないように注意しましょう。



できあがり

●もっとくわしく知るために

- ・貴田庄著：「母と子のマーブリング」 美術出版（1992）
- ・両角亮治他著：「学研の図鑑 理科の実験」 p.36 [水面に模様を作ろう] 学習研究社（1986）